

## 令和4年度第6回「金沢の未来を語る まちづくりミーティング」議事要旨

- ・日時：令和4年10月12日（水）18時30分～
- ・場所：ものづくり会館 研修室
- ・対象：諸江、浅野川、鞍月、栗崎、川北、大浦  
（校下、地区）

### 1 開会

#### 【村山金沢市長】

皆さん、こんばんは。市長の村山です。

このまちづくりタウンミーティングですけれども、3年ぶりの開催という形になります。そして、私が行うのはもちろん初めてであります。

通常であれば、3年ほどかけて各地区の町会連合会の皆様とまちづくりミーティングをさせていただいて、ご要望を伺いながら、それに対してのご回答をするというような会を設けさせていただきましたが、今回、3年ぶりの開催ということ、そして私が初めてであること、そして実は今年度、来年度の2か年をかけて、これからの都市像をつくっていくというために、今年1年間で全ての地区の町会連合会の皆様とお話をさせていただきたいということで、今回全ての地区を9回に分けて、そういうような機会を設けさせていただきました。

なお、前回のミーティングは10月8日に行ったんですけれども、私、体調不良で欠席をさせていただきました。そして、10月10日には諸江児童館のせっかくのオープンのときにも欠席をさせていただきました。大変申し訳なく思っておりますけれども、また時を改めて訪問させていただきたいというように思っております。

そして、私自身については、10月3日にアメリカから帰国しまして、4日から7日間連続して抗原検査を受けておりまして、10月10日にはPCR検査も受けて陰性であります。今、抗生物質を飲んで体調を整えながらお話をさせていただきますけれども、感染のリスクはないと思っていただいて構いません。ですので、今日も開催させていただきました。よろしく願いいたします。

ということで、今回は私の市政に係る思いを話させていただいて、その後、都市像をつくるに向けての議論ができればなと思っておりますし、できるだけ多く皆様方からのお声

を聞かせていただきたいというように思っています。

また、時間がどうしても足りないというときには、アンケートなどを書いていただいて思いを寄せていただければというように思っておりますので、時間限られておりますけれども、よろしく願いいたします。

## 2 市長講和「親和力で奏でる金沢」

市長講和の内容については、レジュメを参考願います。

## 3 意見交換

### 【諸江地区町会連合会】

先ほどの市長さんのご挨拶にもありましたけれども、先日、諸江児童館を新設していただきまして、本当にありがとうございます。児童が利用しない時間帯については、諸江福祉館という形で地元住民が福祉とか健康活動に使わせていただくことができるということになって、大変ありがたいことと思っております。本当にこの場をお借りして、改めてまた感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

当地区、我々のほうからは2つお願いの意見と、それから1つ提案をさせていただきたいというふうに思っております。

1つは、今、割出地区の貯水施設を既に整備していただいて大変ありがたいことだと思っております。これに加えて、浅野川中学校が当地区では指定の避難所の一つになっておるわけですが、浅野川の真横にあるために、100年に一度の大雨とかの洪水になりますとすぐに浸水することが想定されておまして避難そのものが困難になるということが考えられます。そこで、我々はこれに代わる避難所の設置をお願いするものであります。避難所の機能を持ったITセンターの新設とか、そういう形でできればありがたいなと思っておるんですが、既存の建物の転用による形でも結構だと思っております。浅野川の堤防沿いの住民が避難できる場所を確保していただくことができればありがたいと思っております。川の近くの学校が避難所になっているということは、幾つもあることは承知しておりますので、市としても整備の順番があることだと思っておりますので、可能な限り早急に対策を講じていただけたらありがたいというふうに思っております。

2つ目は、地区内にふらっとバスを運行していただけないものかという要望でありま

す。今ほどの浅野川の川沿いには北鉄の浅野川線が運行しております。それから、地区の西側沿線は北鉄のバスが運行しております。交通機関は整備されているように見えますが、いずれも南北に移動する線であって、それをつなぐ東西に動くそういったものがあまりないので、高齢者や交通弱者、車を運転しない若者、そういった方には通勤、買物、通学の点でいささか不便な思いをしております。僻地とかとは比べものにならないほどありがたい状況ではあるんですけれども、それでもできたら隙間を縫う形でふらっとバスという形で、金沢アル・プラザを中心にして、北端は問屋町、それから南のほうはJR金沢駅などを8の字形に運行するような、こういうバスを運行していただくと大変ありがたいなというふうに考えておりますので、どうかご検討をお願いいたします。

3番目は提案事項であります。先ほどいろいろ言われているんですけれども、金沢市のこの北部には新たな文化的にぎわいを創出する施設がないわけではないけど少ないように私どもは感じます。海側環状線の整備に合わせて、新たな音楽ホールの設置を提案いたします。既にJR金沢駅兼六園口には県立音楽堂があり、アートホールがあります。それから、市の中心部には歌劇座、文化ホール、本多の森ホールがあります。こうした既存のホールとはコンセプトを異にする。美術館でいいますと県立美術館に対する21世紀美術館に当たる、この21世紀美術館に相当する新たな形の音楽ホールをこの北部に設置してはどうかという提案であります。これによって、文化面による金沢北部の活性化が期待できるのではないかとこのように思っておりますので、これを提案させていただきます。

つたない意見でございますけれども、お伝えできる機会をいただきまして、本当にありがとうございます。

#### 【村山金沢市長】

ありがとうございました。

浅野川中学校は確かに川のすぐ近くでなかなか大変だなとは思いますが、災害にも様々なものがあります。地震の想定もありますし、もちろん大雨、洪水等の被害もあるというように思います。大雨、洪水の際には適さないかもしれないけれども、地震の際には適するということも意味がありますので、全て兼ね備えた避難所であるのが一番いいのはもちろんおっしゃるとおりだと思います。

順次、適地について検討しなければいけないなというような課題は持っておりますので、持ち帰らせていただきたいというように思っております。

ふらっとバスについては、新保都市政策局長のほうからお答えいたします。

3つ目の提案、市の北部への文化的なにぎわいの施設についてということもあります。こちらも含めて、施設をどのように市内で配置していくか、あるいはそれが音楽ホールがいいのか、あるいはほかの施設がいいのかということも含めての検討になっていくと思えますけれども、先ほどの浅野川中学校の件も含めてご意見として承った上で検討させていただきたいというように思っております。

#### 【新保都市政策局長】

ふらっとバスにつきまして、交通政策を所管しておりますので、私のほうからお答えをいたします。

まず、ふらっとバスという概念なんですが、町なかにおいて、交通弱者と言われる高齢者の方々が移動ができるような、そういう仕組みとして市としてふらっとバス、4ルート設置をしております。

ただ、今ほど会長さんもおっしゃったとおり、郊外部でいろいろと交通が不便な地域が増えてきているということもありまして、そういう場合、地域運営交通という仕組みを取らせていただいております。地域の方々にご負担をいただいて、それでルートを決めていただいて運営をしていただく。特に中山間地域でバスがだんだん減っているようなところで導入をしているところがございます。そういう仕組みが例えば諸江地区でも導入できないか、またその仕組みについてご説明をさせていただければと思っておりますので、その考え方につきましては、今、第3次交通戦略を取りまとめておりますので、どういう地域がどういう交通体系がふさわしいかということも含めて検討させていただければと思っております。

#### 【村山金沢市長】

様々にご意見いただいてありがとうございます。

全て意見として受け止めた上で、また検討させていただきたいというように思いますので、今のところはどれができないということまでは言わずにお聞かせいただいて、ただ、できるとも言えませんので、そこはご留意いただければと思います。

#### 【浅野川校下町会連合会】

今日は「10年後の金沢の未来像について」ということで、校下の課題と要望ということでお話しさせていただきます。

実は浅野川校下町会連合会では、平成20年7月28日に発生しました浅野川豪雨災害を機に、浅野川校下では人的な被害とかはなかったんですけども、水害に対する住民の意識が高まりまして、各町会より西部緑道の敷地内を活用した防災訓練等の拠点施設の設置を求める声がたくさん寄せられております。平成25年10月開催のまちづくりミーティングをはじめとしまして、機会あるごとに金沢市のほうに地元の要望を取り入れた西部緑道の早期着工の要望を行ってまいりました。しかし、進捗度が遅いもんですから、いまだ着工には至っておりません。諸事情があると思いますが、改めて早期着工をお願いいたします。

それともう一つ、排水機場の保守点検についてなんですけど、浅野川校下では5町会が排水機場があります。雨水等の排水対策が行われております。一部の排水機場では、施設のコンクリート壁に亀裂が入りまして、大野川のほうからの逆流が懸念されるとの報告もありました。地域住民の生活にとって重要な施設でありますので、排水機場の保守点検の徹底をお願いいたします。以上、浅野川校下からの課題と要望でございます。よろしくお願いたします。

#### 【木谷道路管理課長】

西部緑道の件についてお話がございました。この事業については、国の補助を受けながらやっているわけなんですけど、当然、土木施設の整備ということ、また公園の整備、予算の限りにおいて効率的な運用というか整備を進めているわけなんですけど、今、海幹Ⅳ期の開通が目前に迫っております。優先順位、まずは道を整備して、そしてその後、緑道を整備するというような形で、緑道の整備についても着実に進めてまいりたいというふうに考えております。多少優先順位が地域によって違うこともありますが、しっかりと要望を聞きながら進めてまいりたいというふうに考えております。

排水機場の件につきましては、浸水対策にも直結するような施設でもございます。保守点検について、排水機場自体は農業施設ではございますが、農業基盤整備課とも連携取りまして保守点検についてもしっかりと実施してまいりたいというふうに考えております。

#### 【鞍月校下町会連合会】

金沢港の浸水対策、これに関して私自身、近岡町の生産組合の役員をしておりまして、

今年6月に内水整備課長が当町会へおいでになり、この田んぼダムの説明とか浸水対策に関して熱く語っていただいたので、本当に非常に今後も期待しております。

それとは別の話になるんですが、先般、町会長会議の折に国土交通省の方から外環状道路の本線部分の工事についての概要説明がありました。詳細は省かせていただきますが、その中において本線は高架ではなく盛土形式でいくということになっているということで、こちらのほうでどれくらいの高さの盛土になるのかと確認したところ、高低差はあるもののおおむね10メートル程度の高さになるという回答でありました。

この盛土方式に対して、各町会長のほうから、なぜ高架ではなく盛土方式になったのか。盛土になった場合、当校下は鞍月小学校が外環状の内側、湊中学校は外側にあります。それぞれ盛土の場合、トンネルができるということで、通学路に関する防犯面での安全性はどうか。そしてまた、10メートルの高さの土の壁ができた場合、その周辺住民の方々が圧迫感を感じるのではないかというような危惧があります。

私が言いたいのは、このような説明会を町会長の皆様にだけ話しして、関係住民とかには説明会があるのかないのか。もし説明会を予定していないということであるのであれば、できれば鞍月校下、各町会全ての住民を対象には言いませんが、せめて外環状の沿線の住民の方々、そして商業施設の方々にだけでも説明会を開いていただけないかなと思ひまして発言させていただきました。

といいますのも、環状道路内側は緑道帯があり、その外側に民家及び商業施設があつて、仮に本線が10メートルの盛土になったところである程度圧迫感はないと思うんですが、外側に関しては完全に民家及び商業施設が環状道路に接していますので、側道部分というのがたしか歩道が5メートルの車道が8.5メートル、13.5メートルの幅になって、近い方では玄関のドア開けたら15メートルから20メートル先に10メートルの土の壁ができる格好になるんです。そうなった場合、いろんな問題が出てくると思いますし、それを説明会がなく知らずに工事が始まってから将来こうなるというような話が出てきたときに、その住民の方々は感情的にもかなりいらつくとか、怒られる方もおいでるんじゃないかなと思います。それが直接町会や金沢市さんのほうにも強い風当たりとなっていくと思いますので、何とか説明会を住民に対して開いていただけないかなという願いがありました。

#### 【木谷道路管理課長】

私も昨年まで内水整備課長をしておりました。近岡町周辺、金沢港周辺はしっかりと短

期、中期、長期というふうに作戦を練りまして、しっかり対策を講じてまいりたいというふうに考えております。

それと、先ほどの国の事業、令和2年度から今町・鞍月間の本線部分の環状道路について着手をしているということは聞いております。ただ、具体的に今、大きな盛土のお話がありました。令和2年度から着手をして設計を進めておるといふには聞いておりましたが、本市の土木部局と国土交通省との具体的な図面での打合せは今のところまだございません。

今のご意見、貴重なご意見でございます。急に大きな盛土が家の前に出現したら、どの部分が高架になって、どの部分が盛土になるのか、全線盛土になるのか、一部分が盛土になるのか、いろんな考え方が道路を造っていく上であるとは思いますが、今のこの盛土が非常に心配な部分が多くあると。子どもの関係、地域の関係、いろんな方が心配されておるといふことは、説明会があるのかないのかも含めて、国土交通省金沢河川国道事務所にこの意見はしっかりと伝えたいというふうに思いますので、まずは住民の理解がないと公共事業は進まないというふうに私は考えておりますので、この意見はしっかり伝えさせていただきます。

#### 【栗崎校下町会連合会】

今、市長さん来られたときに栗崎地区をどう思われたか。非常に静かで住みやすい町だなと思ったのではないかなと思います。

ただ、私今日聞きたいことは、金沢市が金沢港周辺を、今だから言うんだけど、どういふふうにした。前までは、県のほうに私らもいろんな要望しているけれども、何か金沢市は逃げているような感じを見受けて、ここは金沢市です。河北郡じゃないんです。ここも金沢市なんで、もう少し金沢市がこの金沢港周辺の、もちろん景観であったり、にぎわいであったり、もちろん歴史、文化も栗崎にもあります。そういうことを少し考えてほしいなど。

具体的に幾つかあるんですけど、2つばかり要望なり、将来、未来、10年後のことを考えて提案させていただきたいと思います。

まず一つ目、大野川があります。大野川の、古くからの栗崎町会なんですけど、新川橋という橋があつて、あそこがずっと渡れなくなって中断していたんです。ようやく県があそこに新しい橋を架けるといふ話がありました。これは二、三年後かね。その栗崎側に木谷

藤右衛門さんという立派な方がいたんです。そこに木谷公園という立派なでかい公園があるんです。そこを一昨年ですか、市のおかげで北前船の金石、大野と同時に日本遺産にしてくださいまして、ありがとうございます。

そういう中で、いかに観光というか人が来てくれるようなそういう橋であったり、また木谷公園を地元と一緒にどういうふうな公園にしたらいいかという話を今後うちとしてはしていきたいなど。

今一番私も金沢市の全体を眺めると、子どもたちの遊ぶ場所が、特に自然を相手にした遊び場所が一つもないということはないけどあんまりありません。山に少しありますけれども、私もいろんなところを回っていると、港の近くに必ず臨海公園というのがあります。それは大きくななくてもいいんです。小さい、マッチぐらいでもいいんですけれども、子どもたちが金沢市にそういう遊ぶ場所がない。水族館は能登島まで行かなきゃない。動物園は辰口まで行かなきゃない。金沢に何あるんですか。文化とかそういう建物は立派にたくさんありますけど、肝腎の子どもたちが親子と一緒に自然と遊べる場所がない。ただ、やっぱり今、金沢港もクルーズ船が入ってにぎわいもできました。コロナ禍の中なんですけれども、これを踏まえてこのチャンスに、来年から就航してくれば、対岸側が栗崎になります。表ばかり表に出て、もう少し全体的な景観を眺めた中で、金沢市としてこの周辺をどういうふうな町にしたらいいかという話を地元と一緒に私はしていくべきだと思いますし、私も何年かさせていただきましたけれども、私も仕事は農業なんですけれども、農業も盛んなところなんです。ただ、今、農業も大変苦しいです。

そんな中で、今、もう一つの話はあそこの五郎島埠頭って知っていますね。五郎島埠頭、対岸にあるんです。あそは金物と砂ですごくクルーズターミナルから見ると景観が悪いんです。聞いたことあると思うんですけど。そこを、ああいう場所は要と思うんだけど、あまりにも近くて景観が悪い。船に乗ってきた人もやっぱりそういう話はします。そこをどういうふうにするか。その場所を、五郎島地区なんだけど、あそこも結構市街化区域になっているんで、そこを何とかしようかという話も地元では出たりしているんです。何で出たかという、やっぱり離農者、後継者不足であそこの地権者はほとんど農業してない人がかなり増えてきているんです。ここに来て。やっぱり何とかしてくれ、何とかしてくれということは、誰かに買ってもらえんかなとかって。何か有効利用してもらえんかなって。これはどうしても行政が絡まないとできない話なんで、そのところを金沢市として、まさに将来、未来について、あそこをどうしたらいいかということを考えてもらいたいな



と思っています。

私たちが今、金沢市の活性化事業を、粟崎は特に少子・高齢化ですごくなくなってしましてそれを一生懸命やっているんですけども、まず将来的な話になると金沢港、表だけじゃなくて全体像を眺めた中でやっていったらすごく観光船、クルーズ船も来て、こちらのほうも自転車か何か乗ってくるような場所をつくったらどうかと。防災公園でもいいんですよ。今、諸江さん言ったような、こっちのほうにないし。そういう子どもたちが自然と本当に触れ合う。海側って、ここって津波があっても、この地図見ていると意外と安全な場所なんです。粟崎地区は。特にここが一番高いところなんで、すごくここの稼働率ですか、利用も物すごく多いし、それはうれしいことなんですけれども、もう少しそういったことを金沢市も積極的に入って行ってほしいなと思っています。

ちょっと新川橋と五郎島について、町会長来ているので、その辺詳しい話はしていただきたいと思います。

#### 【粟崎校下町会連合会】

新川橋については、現在、大野川は河道拡幅工事を県央土木でやっておりますが、新川橋は昔、農業施設ということで逆水門があって橋脚がたくさんあるので、河川管理者から見ると阻害率が多いということで、上流に立地しとる人が洪水になれば危ないなということもあるし、現在、新川橋というのは上には機具橋、新川橋、そして五郎島町内があったときには五郎島大橋、3本で金沢市とつないでおったんです。ところが、市街化によってたくさん橋ができましたんですが、その新川橋について歩行者専用橋という形で要望しておりますので、ひとつ早く着工できるようにお願いしたいと思います。

もう1点、今、県道でございますが、昔は県道で、準幹線586号線、粟崎1丁目から歩道整備工事の促進を昨年からやっておりますが、1年見るとなかなか工事区間が短い。早くバリアフリー化をお願いしておる中で、もともと県道であったのを、それを車が増えたために車道をかさ上げして、そのかさ上げたすりつけを歩道部でしたら歩道の勾配が急なんで縦断的に歩く、高齢者、弱者が大変不都合を感じております。

ということで、昨年から着工しておりますが、早く全線両サイド完成できるようにお願いしたいと思います。

#### 【粟崎校下町会連合会】

そういうことで。もう一つ、五郎島地区の五郎島埠頭の周辺なんだけど、あそこ今、企業さんが1件来ています。私らもあそこ、まさかと思ったけど市街化調整区域なんだけど、川沿い、海沿いに調整区域があるんです。それが県に言うところけど、県がなかなか、何でこんなもんしいたんやって、農業者しかできない。今、農業する人もいないし、地権者が弱っているんです。

住宅関係の業者かなり来て、地面をまとめてちょっと世話してくれないか、そういう話がここ何年か来ているんです。その調整区域というのは県に言ってもなかなか、港湾事務所ですか、言うてもあれなんで、金沢市として少し用途変更ですか、何かそういうことといたら結構広いんです。開発というか何かするときに非常にやりにくいということで、この辺を何か知恵を貸してほしいなど。

これ、うちの五郎島町会長も弱っているんだけど、若い人も何かせないかんなど。今、少子・高齢化で子どもさん少なくなった中で住宅用地もいいんじゃないかという話も出ています。今、栗崎地区は若い人はみんな内灘のほうに家を建てていくんですよ。住宅政策が内灘のほうがいいのか地面が安いのか知らないけど。そういう現象も起きているんです。

うちらもあそこ地面、市街化区域なんで、少し住宅用地にしたらどうかというそういう話は今、五郎島町会さんのほうで生産組合さんと一緒にやっているんで、その辺も市として何とかお知恵を貸していただいたりそういうことできないものかなど。

これは私のほうからもぜひお願いしたいと思いますけど、町会長来とるから、ちょっと町会長一言お願いしてください。

#### 【栗崎校下町会連合会】

今、会長さんがおっしゃったとおり、高齢でやっぱり農業できないという方もどんどん出てきております。その中で、農地の有効利用ということで48年前に金沢港を造るということで五郎島のほうは自分の住んでいるところ、また農地のほうを全て国のほうに渡しまして、別の今の現状になるんですけれども、そのときからずっと塩漬けの状態、基本的にはもう市街化になっているということで、実際は農業しているんですけれども農業の補助金も投入できない。逆に何も投入できない。しかし、国のほうは将来的に何かするというので調整区域を相当大きな幅で策定はしているんですけれども、そのせいでなかなかこれからの開発が全く進展しないという状況になっております。

また、国と県と相談する上で、何とか金沢市のほうからいろんな形で後押しをしていたければなというふうに思っております。

#### 【木谷道路管理課長】

新川橋の件と、歩道のバリアフリーについて少しお話しさせていただきます。

新川橋、現在、石川県のほうで河川の改修に合わせてということで、石川県のほうが事業者として新川橋の架け替え、やっと進んでおります。私どもも道路管理課ですが、相談というか、こういうふうな架け替えを考えているということのお話は聞いております。

現在、石川県のほうでは、基本計画中というふうに聞いております。来年度、詳細設計に入っていくというふうに聞いておりますので、今ご要望のありました歩道専用橋というような形のご要望については、私どものほうからも石川県に伝えてまいりたいというふうに思っております。来年度から詳細設計に入るというふうに聞いております。

もう一つ、旧県道が市道に、平成14年に県道から市道に移管された道路のすりつけ部分、何回も何回も舗装を県がかけたものですから、歩道の部分が少し斜めになっている、車道もかまぼこ状態になっているような県道でございました。

今、この歩道部分を歩きやすいようにということで、高齢者のため、子どものため、安全を確保するためにフラット化をしております。今年は10月末頃から工事を予定しております。ただ、この工事、非常に地元との設計の段階での車道と歩道の間ブロックをつけないとダメです。ブロックをつけて安全を確保するのですが、そのブロックがあると例えばお店の方は入りにくくなるというようなことで非常に調整に時間がかかります。総論賛成、各論少し反対というような形になってまいります。できるだけ我々、歩道のフラット化、地元の方に説明して進めてまいりたいと思っておりますので、あの区間、まだまだ長い区間ありますが、鋭意努力してやっていきます。

地元の方もご理解のほどよろしく申し上げます。

#### 【村山金沢市長】

この場で答えられることとそうでないところは非常に多いんですが、粟崎については今回クルーズターミナルができて、金石、大野側に対しては、その前からですけども一つのコまちなみ保存などの活用、また修景の修復などが行われてきました。

せっかく近くにクルーズターミナルができてということもあると思うんですけども、

栗崎は住宅地として非常に落ち着いた、しかも選挙期間中いろいろ回ったんですけども、ほかのところの人けがない住宅地というよりも、人情味が厚い住宅地というような感覚を持っていて、それから開発がしっかりとなされてしまっていることもあって、大野、金石とはまた違う魅力なんだろうなというように思っています。

おっしゃられたように歴史も深く、それはどのように残っていて、それをどう生かせるかというところが一つ次のポイントなのかなというようにも思いました。

さらに五郎島埠頭のほうについては、私も第一印象としては、せっかくクルーズターミナルができたのに汚いなという思いがあるんです。ただ、民地との関係もありますし、それをどうしていくかというのは少し時間をかけて考えなければいけないというように思います。

ちょっと細かく、どこが調整区域でどういう開発意向があつてというところなどについては、調べてみないと分からないので時間をいただきたいというように思います。持ち帰らせていただきたいというように思います。

#### 【川北地区町会連合会】

今日は幾つか課題の中で城北運動公園の市民サッカー場建設において幾つか要望事項がありますのでお伝えしたいと思います。

現在、磯部地区におきましては、北部運動公園内に建築中のサッカー場はツエーゲンのホームグラウンドとなるのが先ほども市長が言われたとおりなるということになっております。市長はサッカー場を通じて、この地区をスポーツを通じた都市のにぎわい創出を図ると言われております。その中で沖町、磯部地区におきましては、先ほどもいろいろと皆さん言っていますけれども、農業振興地域に入っておりまして調整区域の一環となっております。長年、調整区域の解除を願って、いろいろと市と相談はさせていただいておりますけれども、なかなかその状況が拭えない状態でございます。

今回、都市のにぎわい創出を図るとのことで、調整区域の全面解除もしくは沿道サービスの店舗が出店しやすく、沿道の一部調整区域の解除を願っているところです。

ご存じのとおり、周辺道路、沿道には飲食店、コンビニ、ドラッグストア等の施設が全くありません。東側には対象飲食施設はありますけれども、西側のほうには全くない状況であります。

今回のサッカー場建設に当たり、多くの来客が見込まれると思いますので、調整区域の

線引きを真剣に考えていただきたいと思います。また、道路整備の必要性も来場者が増えることにより歩道整備も考慮しなくてはならないと感じます。状況を踏まえながらではございますが、交通環境の整備もお願いしたいと思っております。

また関連して、沖町につきましては、町内からサッカー場進入路までの整備をお願いしていると聞いております。この道路、1区間につきましては、地元地権者の賛成も得ておると聞いておまして、地元の防災経路として活用できるように早期着工をお願いしたいと思っております。

#### 【木谷道路管理課長】

道路の質問について、2つ、地区の防災区間というお話と、今回のサッカー場整備に伴っての歩道整備、その他についてということで。

まず、サッカー場の周辺道路の交通量調査を令和2年に行っております。その交通量調査等から、沖町交差点付近が将来混雑が予想されるという調査結果も出ております。この調査結果を受けて、今後、最寄りの駅からの流入人口もございます。それもありまして、サッカー場の完成後、速やかに再度調査を、実際の調査も行いまして対応を検討していくこととしております。しばしお待ちください。

もう一つ、防災区間の道路については、地元との打合せも行っております。順次、協力していただけたところについては一気にというわけにはいきませんが、着実に進めてまいりたいというふうに考えております。

#### 【村山金沢市長】

調整区域の解除の件は、様々なところで課題になるところです。

今回、サッカー場ができて、今のツエーゲンの観戦者数ってそんなに多くない中、ここからサッカー人気がどのように火がつくか、観戦環境は非常によくなるので、ひょっとしたらかなりの人気が出てくる可能性はあるというように思います。

そうすると、試合終わってからの公園を出るまでの渋滞、出た後の渋滞みたいところが懸念されるのは確かにあると思います。その際に、どこで時間を潰して滞留できるかというような際に店舗などが重要な鍵になるというように思います。

ご事情は十分に理解した上で、検討がどうできるかというところの課題になるかと思いますが、他の地域との関係もありますし、また農振地域との関係もありますので、そこを慎

重に検討するしかないかなとは思っておりますけれども、ご意見いただいたことは担当課のほうに伝えたいというふうに思います。

#### 【大浦校下町会連合会】

先ほどの栗崎さんからもお話ありましたけれども、10年後の未来考えるというと、何かまちの中だけのお話みたいな気がします。

私どものほうも実態はと申しますと、ほとんどが田んぼですよ。その中に住宅団地、瑞樹団地と木越団地があって、その周り全部田んぼですから、そこで10年後の大浦地区の未来考えようといっても、ちょっと私にはぴんときません。ですから、大浦地区で何かやろうと思っても、そこは優良農地だと、その一点張りなんです。それじゃ何にもできないと思うんです。

ですから、先ほど調整区域の問題もありましたけれども、いつまでたっても優良農地、優良農地の一点張りでやられたんでは何も考えようがないんです。その辺をもっと未来を語るようなそういうものにできたらいいなというふうに思います。

市内にも確かに歴史とかいろいろありますけれども、前田さん、城下町、そんな感じで来ているんですけれども、我々の農村地域でも一揆の里であるとかそういった歴史があります。でも、それを語る人がだんだんだんだんいなくなっています。ですから、そういう歴史の掘り起こしなんかについても、市内、いっぱいそういうところがあると思うんですけど、何かそういうふうに援助していただけたらなというふうに思います。

それから、大浦地区の特色としては、浅野川、それから金腐川、大宮川、それから柳橋川、こういう河川の下流が集中しております。ですから、水害の際にはいつも心配しておるんですけれども。特に今、避難施設というのは大浦小学校と公民館です。これ隣接しております。大浦区域の要は西部に当たります。その西部と、木越町会、木越団地町会、瑞樹町会というのは金腐川の東側に当たります。ですから、いざ大雨で避難しようと思っても、金腐川という危ない川を渡って学校へ避難するという、これはナンセンスなんです。ですから、何かその3町会あたりの避難施設というものを、これは大変お金のかかる話だと思うんですけれども、ぜひご検討いただきたいなというふうに思います。

こういうのは多分ほかの地区でもあるんじゃないかと思うんです。学校と公民館を避難施設にして開設しましたでは、それはちょっと住民のことを考えていただいていないというふうに思います。ですから、もう少しその地区その地区に合った避難施設の設置の



【木谷道路管理課長】

浸水リスクについてのお話があったかと思えます。

この大宮川、その横の金腐川、そして柳橋川、またその横には浅野川が流れておって、この地区は金沢港周辺と同様に浸水リスクが非常に高い地域でございます。住んでいる皆様のほうがよくご存じかなと思っているくらいです。

金沢市は、金沢港周辺も力入れておりますが、この大宮川流域周辺についても短期対策、中期対策、長期対策ということで、今、いろんな施策を実施しております。まずは短期の対策としては、一番短期的に効果が出るのは浚渫です。細かい用水の浚渫についても、少し大きな川の浚渫についても、我々ご要望があれば現地調査しまして市の管理する河川であれば、予算の限りはございますが早急に現地を見て対策を練りたいというふうに考えております。

それと、浸水リスクが高いということは、田んぼの浸水、そして道路の浸水等があると思うんですが、短期対策として仮設のポンプをとにかく配備しようということで、大浦についても1か所、一昨年配備させていただきました。今後ともこういう仮設の、床上浸水までいかない、床下で止める。道路冠水だけで止める。とにかく減災、これに取り組んで、短期的には取り組んでまいりたい。

中期対策なんですけど、やはり雨水の大きな貯留施設を大宮川の上流域、やはり都市化した部分のところから流れ込んでくる水を一気に下流域に流すのではなく、途中で水をためて、貯留施設の検討を今、城北のテニスコートがございまして。その辺りで小橋用水からの水をキャッチできないかということで検討もしております。その他にも何とか上流から流れてくる水をカットして、下流域の皆様にごできるだけのリスクを低減をしていこうという対策もしております。

当然、大宮川の改修事業、これは河川の改修事業は下流域から順に工事をしていかなきゃいけない長い長い、昭和60年からやっている事業で、これも国の補助を受けながら、議員の方々、皆様方の意見を踏まえて、国へ要望していきながら、補助事業でしっかり取り組まさせていただいておりますし、今後とも早期の実現に向けて皆様と一緒に努力したいというふうに考えております。

あと、排水機場のお話もありました。私、排水機場は農業施設だと言いますが、浸水対策に非常に重要な施設だと考えております。この排水機場で田んぼの水、用水の水を河北潟に出して、内側の水のポケットを増やして浸水リスクを減らしていく、こういった排水



機場と我々の内水被害の低減、この辺りを農業分野ではありますけど連携して行って、浸水被害の低減に努めてまいりたいというふうに考えております。

**【大浦校下町会連合会】**

すみません。柳橋川については、排水設備がないんです。ですから、河北潟の増水に合わせて、逆に言えば逆流してくる、そういう感じもあります。その辺でまたポンプが必要であるということでご理解いただければ、またその点でもお願いしたいと思います。

**【木谷道路管理課長】**

柳橋川は、大宮川と一緒に河北潟へ入っております。今、国営の事業で河北潟の浸水対策を国のほうでも力を入れてやっております。その効果を見定めて、その上流側の我々については河北潟がどれだけ水を下げしてくれるのか。それによって水が出ますので、その辺りは国とも連携、県とも連携しながら情報交換しながら、柳橋川についてもしっかりと地元の見聞を聞きながら対策を練っていききたいというふうに考えております。

**【村山金沢市長】**

実は8月4日の大雨で大変各地心配されたというふうに思っておるんですけども、幸いなことに人的な被害がなかった。家屋被害についても山間部と、あと一部下流部にも被害はありましたけれども、それでも人的被害ということにはなかったということ。そして、これは総合治水対策としてはある程度うまくいったところが、この被害を最小限に抑えられたんじゃないかなと実は思っているんです。

これで満足してはいけないというのもう一つ思っておって、住民の皆さんの水害に対する意識が今高まった状態なので、よりよくするためにはどうしなきゃいけないかというのを考える時期だと思っています。

ですので、この辺りを国にも今要望しているんですけども、総合治水対策、やはり来年度、最重点でやらなければいけないというような意識でおりますので、またご意見ありましたらいただければというふうに思っております。

そして、農地のお話いただくと、これは今回これの指定を外してしまったら、ここまで何十年、100年以上にわたってつくってきたものをなくして、これを元に戻すにはどれだけの力が要るんだというようなことを言われてしまうので、県あるいは農政局に対して、そ

ここで議論が終わってしまうところは一部あるんです。ただ、タブーをもって議論をしないとなると、全く将来開けてこないと思うんです。これが将来的に残っていくことと、あるいはそれと比較してよりよいビジョンが描けて、それが後世にとってもいいということが絶対に言えるような代替案が出てくるのであれば、それは考えなければいけないことだというように思っています。ですので、そこで議論を止めてしまうのではなくて、その先のビジョンもまず思い描いていただくのが大事かなというように思っています。また、議論させていただきたいというように思います。

#### 4 市長まとめ

##### 【村山金沢市長】

遅い時間までありがとうございました。

十分にお答えできなかったところはもちろん多々あると思いますし、本当に一部の方の意見しか伺えなかったところがありますので、ぜひアンケートのところにご意見書いていただいて、また市のほうでも検討する材料にさせていただきたいというように思います。

長時間にわたりましてありがとうございました。